

JATA26-018

2026年9月25日

【JATA×パラオ政府観光局】持続可能な観光の推進と相互交流拡大 に向けた覚書（MOU）を締結 ～環境保全体験などの高付加価値旅行・教育旅行の推進を通じて、 パラオの持続可能な観光と送客拡大を目指す～

一般社団法人 日本旅行業協会（会長：原 優二、以下「JATA」）は、パラオ政府観光局（局長：カドイ・ルルケド、以下「PVA」）と、観光分野における持続可能な発展と相互の送客拡大を目的とした覚書（MOU）を締結いたしました。

本締結に基づき、JATAが運営するJOTC（アウトバウンド促進協議会）「オセアニア・大洋州部会」および「教育旅行部会」の活動と強いに連携し、パラオ共和国における環境保全・地域貢献への支援とともに、その魅力を日本国内に広く伝えることで、パラオへの送客を拡大する取組みを推進してまいります。



（左からパラオ政府観光局 カドイ・ルルケド局長、JATA 原優二会長、JOTC オセアニア・大洋州部会 秋山秀之部会長）

記

1. 本協定の目的と背景

パラオ共和国は豊かで美しい自然と独自の文化を有しており、観光分野における環境保全と経済貢献の両立が重要な課題となっています。本協定では、以下の2点を主な目的として両組織で協力体制を構築いたします。

(1) 持続可能な観光の推進と体験価値の向上

自然や文化遺産の保護を図りつつ、地域社会の生活の質や環境を維持し、地域経済へ貢献するプロジェクトを選定・推進することで、旅行者の体験価値を高めます。

(2) 連携による相乗効果の創出

両組織の事業計画において、提言活動の影響力や信頼性の向上、費用対効果の高い調査やB2B イベントを通じた相乗効果を発揮します。

2.主な連携内容

(1) 知見・成功事例の共有と交流促進

持続可能な観光発展に向けた知見や成功事例の共有、観光分野の発展と自然・文化遺産保護に資する交流を推進します。

(2) 共同イベントの実施および相互参加

セミナー、会議、見本市、シンポジウム等の共同推進や相互参加を奨励します。

(3) 官民投資・提言活動の推進

持続可能な観光発展に関する共通課題への提言および官民投資の促進を図ります。

3.具体的な取り組み（予定）

(1) 高付加価値な体験型商品の展開

サンゴの保護・育成活動を行う「パラオ国際サンゴ礁センター」や、ごみ資源の収集から再利用までを行う「リサイクルセンター & ベラウエコグラス」などのリソースを活用し、環境保全を学び・体験できる高付加価値ツアーの企画・展開を進めます。

(2) 教育旅行分野での魅力発信

豊富な学習素材を持つパラオの魅力を学校・教育関係者へ広く訴求し、教育旅行の訪問地としての認知拡大を図ります。

(3) 共同ロゴマークの活用

PVAとJATAが共同で作成したロゴマークを各旅行会社が積極的に活用し、「パラオの認知拡大」と「送客拡大」を一体となって推進します。



■一般社団法人 日本旅行業協会（JATA） 会長：原 優二よりコメント■

「このたび、パラオ政府観光局との協力覚書締結をさせていただくことになりました。パラオ共和国は、自然豊かで日本とは歴史的なつながりも深く、特にダイビングでは大変な人気を誇る魅力的なデスティネーションですが、それだけではなく、神話に基づく独自の文化や環境保護への取り組みなど観光資源豊富な国で

あり、旅行会社がその魅力を最大限に引き出し、消費者の皆様にお伝えができと考えています。様々な旅行の形態を通じ、パラオの魅力的な商品を一人でも多くの方にお伝えし、両国間の更なる交流が促進されるよう進めてまいります」

以上

報道関係の方からのお問い合わせ 一般社団法人 日本旅行業協会広報部

TEL : 03-3592-1244 e-mail : press@jata-net.or.jp